

広島大学図書館百年の歩み

年 表

年次	広島大学図書館沿革（抄）	広島大学沿革（抄）	日本の出来事
明治36（一九〇二） 大正3（一九一四） 大正12（一九二三） 昭和4（一九二九） 昭和16（一九四一） 昭和19（一九四四） 昭和20（一九四五） 昭和21（一九四六） 昭和22（一九四七） 昭和23（一九四八） 昭和24（一九四九）	広島高等師範学校図書館の開設 広島文理科大学附属図書館と改称 閲覧業務を停止し、図書の疎開開始 原子爆弾により建物と蔵書の大半を失う（焼残り図書9万冊） 閲覧再開。教育課程文庫の開設。旧海軍兵学校より図書寄贈 広島大学附属図書館と改称	広島高等師範学校を設置 広島文理科大学を設置。広島高等師範学校は広島文理科大学に附置 広島県立医科大学が開学 広島大学は、広島文理科大学、広島高等学校、広島工業専門学校、広島高等師範学校、広島女子高等師範学校、広島師範学校、広島青年師範学校を包括し、広島市立工業専門学校を併合して設置される。その学部は文学部、教育学部、政経学部、理学部、工学部、水産産学部と定められる。『広島大学学報』創刊 元文部大臣森戸辰男が初代広島大学長および広島文理科大学長に補される 広島大学開学式 広島高等師範学校を廃止 大学院を設置。医学部を設置 広島大学学章を制定。広島医科大学の廃止 原爆放射能医学研究所を設置 広島文理科大学を廃止 教授皇至道が第2代広島大学長に任ぜられる 歯学部を設置。電子計算機室を設置 教授川村智治郎が第3代広島大学長に任ぜられる	ドイツに宣戦布告。第一次世界大戦に参戦 関東大震災 太平洋戦争勃発 広島、長崎に原爆投下。日本、無条件降伏 日本国憲法公布 教育基本法公布 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞 対日講和条約・日米安全保障条約調印 テレビ放送開始 広島で第1回原水爆禁止世界大会開催 日ソ国交回復。日本、国連に加盟 南極観測隊、昭和基地建設開始 皇太子明仁と結婚
昭和26（一九五〇） 昭和27（一九五二） 昭和28（一九五三） 昭和30（一九五五） 昭和31（一九五六） 昭和32（一九五七） 昭和33（一九五八） 昭和34（一九五九） 昭和36（一九六一） 昭和37（一九六二） 昭和38（一九六三） 昭和39（一九六四） 昭和40（一九六五） 昭和41（一九六六） 昭和42（一九六七） 昭和43（一九六八） 昭和44（一九六九） 昭和45（一九七〇） 昭和47（一九七二）	本館のほか、教育学部、同東雲分校、同三原分校、同福山分校、政経学部、工学部、水産産学部及び皆実分校（教養部）の8分館を設置 アメリカ文化センターより図書寄贈。平和文庫の開設 医学部分館を設置 教育学部分館を本館に統合 政経学部分館を本館に統合 理論物理学研究所分室を設置 皆実分校（教養部）分館を本館に統合 原爆放射能医学研究所分室を設置 三原分校分館を東雲分校分館に統合 国際連合寄託図書館の指定を受ける（昭和41） 福山分校分館と水産産学部分館を統合し、福山分館を設置 医学部分館を廃止し、医学分館を設置 本館、紛争により学生に3日間占拠 経済協力開発機構（OECD）寄託図書館の指定を受ける 蔵書冊数一〇〇万冊突破 館報『図書館だより』創刊 全国に先駆けて、電算機による業務機械化を開始	東千田地区のほとんどの建物が封鎖され、霞地区においても医学部の建物が封鎖される。『学内通信』を創刊 教授飯島宗一が第4代広島大学長に任ぜられる 3年ぶり全学統一の入学式および大学院入学式	学園紛争発生。川端康成、ノーベル文学賞受賞 大阪万国博覧会開催 札幌冬季オリンピック開催 沖縄返還。日中国交回復

昭和48（一九七三） 昭和49（一九七四）	OECDの寄託制が廃止され、OECD協力資料館となる	賀茂郡西条町御園宇地区への統合移転を正式に決定 総合科学部を設置 第1回広島大学原爆死没者追悼式	石油ショック起こる *東広島市発足
昭和50（一九七五） 昭和51（一九七六） 昭和52（一九七七）	「目録業務の改善」にて第11回国立大学図書館協議会賞を受賞 図書館専用機で雑誌管理システムを自主開発 学術文献情報検索（HUNDRED）サービス・テスト開始	『広島大学二十五周年史 包括校史』『同 部局史』を刊行 政経学部を分離改組し、法学部、経済学部を設置 教授竹山晴夫が第5代広島大学長に任ぜられる 学校教育学部を設置 『広島大学二十五周年史 通史』を刊行 水畜産学部を改組し、生物生産学部を設置	広島東洋カープ初優勝 ロッキード事件発覚 王貞治、ホームランで世界新記録
昭和53（一九七八） 昭和54（一九七九） 昭和55（一九八〇） 昭和56（一九八一） 昭和57（一九八二） 昭和58（一九八三） 昭和59（一九八四） 昭和60（一九八五） 昭和61（一九八六） 昭和62（一九八七） 昭和63（一九八八） 昭和64・平成元（一九八九）	東雲分校分館を学校教育学部分館に改称 「雑誌業務オンライン処理システム（POPS）の開発」にて第14回国立大学図書館協議会賞を受賞 延べ入館者数一〇〇万人突破（昭和24より推計） 原爆放射能医学研究所分室を廃止 工学部分館が新キャンパス（東広島市）へ移転 図書の新検索サービス開始 蔵書冊数二〇万冊突破 パソコンによる貸出システムの運用開始 雑誌の所在検索サービス開始 学術情報センター（現国立情報学研究所）と接続し目録登録開始 広島市立図書館との相互協力サービス開始 工学部分館を廃止し、西条分館を設置 理論物理学研究所分室を廃止 福山分館を廃止し、教育学部分室を設置	教授沖原豊が第7代広島大学長に任ぜられる 生物生産学部が東広島市に移転を完了 『学内通信』を『広大フォーラム』に改称 教授田中隆莊が第8代広島大学長に任ぜられる 教育学部および教育学部福山分校が東広島市に移転を完了 東千田キャンパスに放送大学開設 附属幼稚園が東広島市に移転を完了 理学部が一部の附属施設を除き東広島市に移転を完了	新東京国際空港（成田）開港 初の共通一次学力試験実施 モスクワオリンピックに不参加 東京ディズニーランド開園 NHK衛星放送開始 つくば科学万博開会 国鉄を分割・民営化 瀬戸大橋開通。リクルート疑惑発覚 *山陽新幹線東広島駅開業 昭和天皇没、平成改元 消費税3%実施
平成2（一九九〇） 平成3（一九九一） 平成4（一九九二） 平成5（一九九三） 平成6（一九九四） 平成7（一九九五）	図書館専用電子計算機の稼働 新キャンパス（東広島市）での中央図書館第1期工事竣工 中央図書館へ本館の一部、教育学部分室、理学部から図書資料の移転。教育学部分室を廃止 中央図書館での業務開始 広島県立図書館との相互協力サービス開始 西図書館へ本館の一部、総合科学部から図書資料の移転 西図書館での業務開始 中央図書館へ本館の一部、文学部から図書資料の移転 中央図書館第2期工事竣工 IDOAPC（蔵書目録検索システム）UNIX版の提供開始	総合科学部が東広島市に移転を完了 教授原田康夫が第9代広島大学長に任ぜられる 文学部が東広島市に移転を完了 大学院国際協力研究科を設置 情報ネットワークシステム（HINET）運用開始。全部局のコンピュータを結び、インターネットに接続 学校教育学部、法学部、経済学部、附属図書館、大学教育研究センター、機器分析センターが東広島市に移転を完了 法学部・経済学部（第一部・第二部）を改組し、主として夜間に授業を行うコースを東千田キャンパスに設置	初の大学入試センター試験実施 湾岸へ自衛隊派遣。雲仙普賢岳で大火砕流発生 台風19号で厳島神社の建造物倒壊 毛利衛、スペースシャトルで宇宙へ カンボジアPKOに自衛隊派遣 *西条駅大学線（ブルーパール）ほぼ全面開通 皇太子徳仁に結婚 冷夏で大凶作、コメを大量輸入 *新広島空港開港 記録的猛暑、渇水被害 関西国際空港開港 広島アジア競技大会 阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件 野茂英雄、大リーグ新人王 Windows95発売

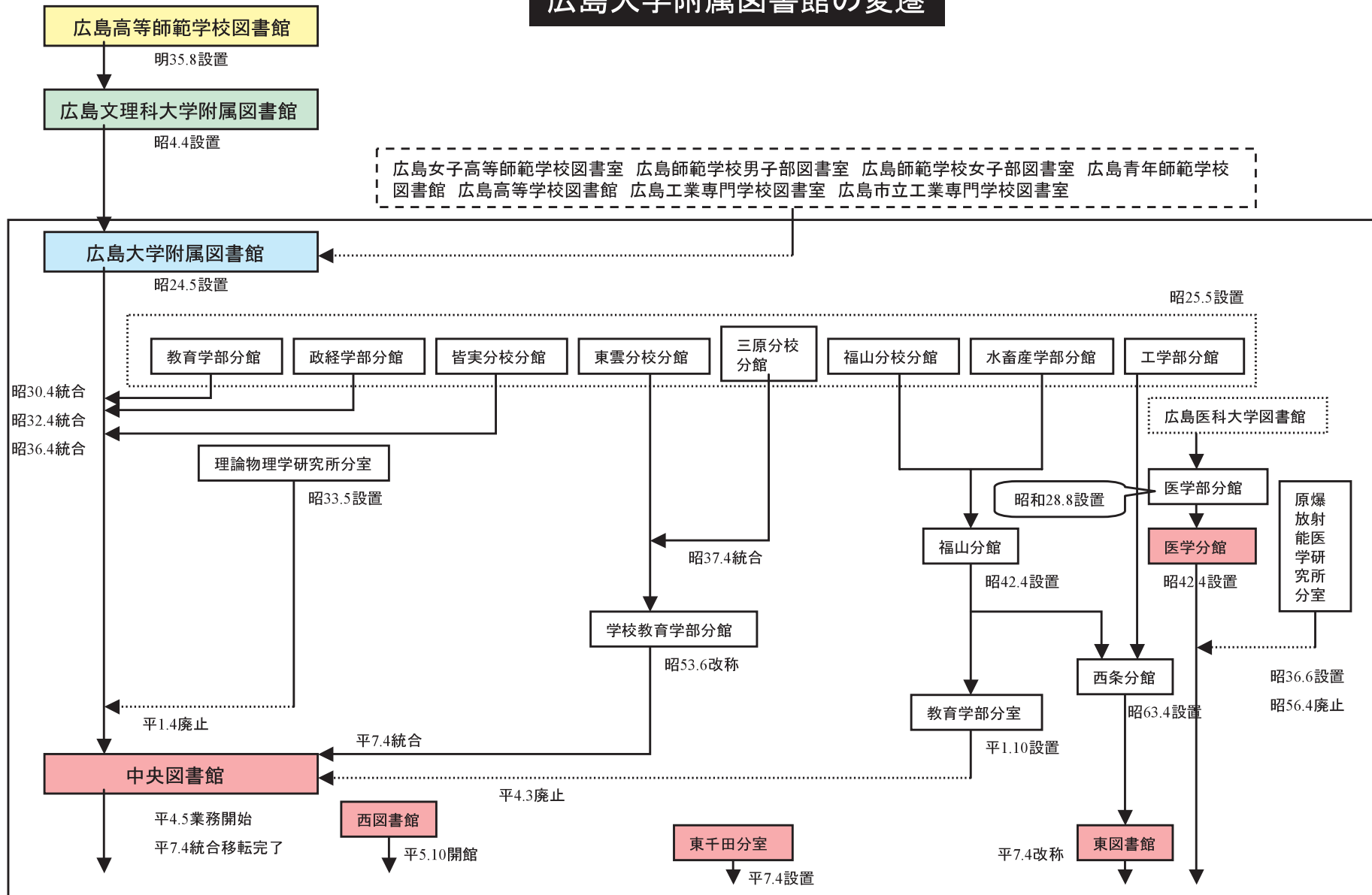
年次	広島大学図書館沿革（抄）	広島大学図書館沿革（抄）	日本の出来事
平成8（一九九六）	西条分館を東図書館に改称 東千田分室を設置 中央図書館竣工・移転記念式典・祝賀会 新OPAC（蔵書目録検索システム）の提供開始 統合移転完了行事にて「図書館の公開」実施 館報『図書館だより』を『リエゾン』に改題 電子メールによる新着図書情報の提供開始 CD・ROMサーバによる情報検索サービスの開始 附属図書館ホームページの公開 電子ジャーナルの利用サービス開始 中央図書館日曜開館の開始 学外者利用手続きを大幅に簡素化 外国語雑誌目次データベースのサービス開始 東広島市立中央図書館との相互協力サービス開始 「広島大学附属図書館の電子情報化構想」を策定 東図書館、西図書館のサービス部門を特化し、他の機能を中央図書館へ集中化	「広島大学の理念5原則」を決定 統合移転完了記念式典を行い、元西独首相ヘルムート・シュミットが講演を行う 学生部が東広島市に移転を完了	HIV訴訟和解成立 デジタル多チャンネル放送開始 原爆ドーム・厳島神社、世界遺産に登録される ペルーで日本大使公邸人質事件 消費税5%に引き上げ
平成9（一九九七）	中央図書館に情報検索コーナー（マルチメディア）を設置 中央図書館に留学生用資料コーナーを設置 延べ入館者数二〇〇万人突破（昭和24より推計） 蔵書入力データー一〇〇万件突破 西図書館にオープンスペースラボを開設 西図書館に情報教育端末コーナーを開設 森戸文庫画像データーベース、広島大学紀要目次データーベースをホームページに公開 広島大学創立50周年記念事業にて「貴重資料展示」を開催 東千田分室の移転開館 広島大学学位論文一覧、斯波文庫漢籍目録、森戸文庫蔵書目録をホームページに公開 延べ貸出冊数五〇〇万冊突破（昭和24より推計） 蔵書冊数三〇〇万冊突破 芸予地震による附属図書館罹災 電子化推進室の設置 教科書コレクション画像データーベースをホームページに公開 「斯波文庫漢籍目録」第36回国立大学図書館協議会賞を受賞 「電子図書館化の推進に向けてー時間情報提供体制の確立ー」を発行 引用文献データーベース Web of Science サービス開始 大韓民国・慶北大学校図書館と「交流協定」締結 広島大学図書館一〇〇周年	事務局、附属学校部、広島大学調査室が東広島市に移転を完了 広島大学公式ホームページの公開 大学院先端物質科学研究科を設置 広島大学創立50周年記念式典・祝賀会 『広島大学の50年』を刊行 教育学部・学校教育学部を改組・再編し、新たに教育学部を設置 高齢者対象のフェニックス入試制度開始 大学情報サービス室を開設 広大アンテナショップ「わっしょいラボ」を東千田キャンパスに開設 学生会館が東広島キャンパスに完成 教授牟田泰三が第10代広島大学長に任せられる ムタ・メルマガジン創刊 広島高等師範学校創立一〇〇周年 参考資料 『広島大学の50年』『広島大学二十五周年史』 広島大学ホームページ 『広島大学附属図書館要覧平成13・14』 附属図書館ホームページ 『日本の世紀館』（小学館） 『日本史年表』（東京堂出版）	郵便番号7ヶタへ変更 長野冬季オリンピック開催 サッカーW杯フランス大会に初出場
平成10（一九九八）			
平成11（一九九九）			初の脳死臓器移植 瀬戸内しまなみ海道開通 中国地方に集中豪雨 東海村で臨界事故
平成12（二〇〇〇）			介護保険制度開始 シドニーオリンピック女子マラソンで金メダル
平成13（二〇〇一）			芸予地震 日本初の狂牛病確認 アメリカで同時多発テロ 敬宮愛子さまご誕生
平成14（二〇〇二）			サッカーW杯日韓共同開催 初の日朝首脳会談 ノーベル賞ダブル受賞

赤II図書館名

青IIシステム関係

緑II統計

広島大学附属図書館の変遷



参考文献: 広島大学附属図書館要覧 平成13(2001)/14(2002) p.1-2

広島大学二十五年史編集委員会編 広島大学二十五年史 部局史(1977) p. 1027-1054

同上

通史(1979) p. 200-201